

## イギリス UWC アトランティック イギリス校 西口さん

留学期間：R4.8~R6.5（2年間）

昨年8月にイギリスに渡り、The United World College of the Atlanticへ入学し、あっという間に1年半が経ちました。2年生最初の学期にあたる3学期は、国際バカロレア課程で最も忙しいと呼ばれている学期であり、毎日の睡眠時間ももたないほどに忙しく、まさに一瞬で終わったように感じます。忙しい今学期において、最も苦労したことはタイムマネジメントです。日々の授業やテストから、Extend Essayと呼ばれる4000語の論文、理系科目の研究課題、大学入学に向けた申請など様々なことに追われる中で、どこに時間を割くか、何から進めるかなど、自分自身で考えながらスケジュールを管理することが大変でした。さらには、このような多忙な時期に学校で流行していた感染症にかかり体調を崩し、とてもストレスが溜まる4か月となりました。しかしながら、この学期を乗り越えることができたことは、私にとって自信に繋がる、意味のある4か月だったと思います。

2年生になり課外活動で何か新しいことを始めてみようと思い、全くの初心者ですが、ピアノを習い始めました。また今年は、日本語を学びたい生徒達に日本語を教える活動「Language guide」にも参加しています。沢山の生徒達が日本語に興味を持ってきているうれしさとともに、人に教えることの難しさを実感しています。異なる語学レベルの生徒に合わせて教材を探し、英語で日本語を説明するために、毎回時間をかけての準備が必要であり大変です。一方で、大きな手応えを感じています。回を重ねるごとに授業がスムーズにいったり、生徒達の成長を感じたりした時には、達成感があり、私も一緒に成長しているように感じます。また、廊下などですれ違った時に、その生徒達がいつも私に日本語で話しかけてくれることがとてもうれしく、楽しく、私にとっては得るところの多い活動です。

また、今年10月、パレスチナのガザ地区を支配するハマスがイスラエルを攻撃し、両者による武力紛争が勃発しました。私の学校でも、この紛争についての討論やパレスチナ出身の生徒による演説、またソーシャルメディアなどで停戦を訴える活動や募金活動を行っています。安全で平和な日本出身である私自身も、武力による衝突を身近に感じ、正義とは何か、民族とは何かなどを考えさせられ、色々な意見に触れました。これらのことは、多くの国から生徒が集うUWCだからこその特別な体験であり、貴重な経験をさせてもらっていると感じています。

UWCでの学校生活は残り半年となりました。来年4月から5月にかけて、国際バカロレア課程の最終試験があり、これからは試験準備や最終的な課題提出で忙しくなるとは思いますが、スケジュール管理や体調管理に気を配り、突っ走って行きたいと思っています。最後になりますが、ふるさと納税によりご支援をいただいている方々への感謝とともに、皆さんの期待を裏切らないよう精進してまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



LGBTQ、性の多様性を祝うイベント その1



LGBTQ、性の多様性を祝うイベント その2  
特に仲の良い友達グループで



アフリカ文化週間で体験したアフリカのダンス



クリスマスパーティー



課外活動：ピアノの練習



新年度の学校全体の集合写真



新年度の寮の集合写真



東アジアの仲間たち